

アフリカの行政官10名が体験します！ 舞鶴高専独自の自治体向けインフラ技術者養成講座

国際協力機構(JICA)では、ベナン・コンゴ民主共和国・エチオピア・ガンビア・モザンビーク・ナイジェリア・タンザニア・ウガンダ・ザンビア・ジンバブエより、アフリカ10か国から各一名の道路整備に携わる行政官を招き、8月19日から10月12日までの二か月弱、道路をはじめとした日本の優れたインフラ技術を学びます。その中で、9月19日に舞鶴工業高等専門学校(舞鶴高専)を訪問し、インフラ技術者不足に対応すべく「社会基盤メンテナンス教育センター」を設立して地方の人材育成に励む同校の取り組みを学びます。**日本の地方自治体と開発途上国は人材不足という点で共通の課題を抱えており、その打破に臨む舞鶴高専の取り組みに学ぶ各国の研修員の様子の記事をぜひご検討ください。**

9月19日(木)の舞鶴高専訪問では、地方自治体に対する社会基盤メンテナンス人材育成研修について、午前・午後を通し建設システム工学科の玉田和也教授に講義と実習をいただく予定です。実習ではコンクリートの非破壊検査や損傷を受けた橋の実物を用いた体験学習を行います。

現在、アフリカ各国では道路インフラの未整備が指摘されており、参加各国の研修員は橋梁や信号、舗装といった基礎的な施設の不足を自国の問題点として掲げています。日本は高度経済成長による急激なインフラ整備とその後の老朽化を経験しており、これらの知見を活かして本研修を実施することで、参加各国の持続的な道路インフラ整備に寄与することが期待されます。

取材可能な日程	
9月19日 (木)	11:00~12:30 講義「地方自治体における社会基盤メンテナンス人材育成」 13:15~15:00 実習「(同上)」 於 舞鶴工業高等専門学校内 社会基盤メンテナンス教育センター iMec 講義棟



※

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 業務第一課 金塚
 TEL 078-261-0383 e-mail: Kanazuka.Takumi@jica.go.jp

※国連採択 持続可能な開発目標(SDGs)「目標9」(レジリエントなインフラを整備し、包括的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る)への寄与が期待されます。